

四月読み取りおけいこ⑤（高）

名前（

）

前号でさえずりのことをお話しましたね。今日は、ききなしのお話をしてみましよう。ききなし、というのは、鳥のさえずりの声を人間の言葉にあてはめることをいいます。

一番有名なのは、ウグイスです。「ホー、ホケキョ」という鳴き方はみなさんも知っていますね。あれには実は漢字があります。「法、法華經」というのです。仏教ではおしゃかさまがとかれた教えを法といいます。法華經というのはお經の一つです。ですから、昔、日本人のほとんどがけいけんな仏教徒だったころは、ウグイスの存在は今よりありがたいものだったのです。

仏教つながりでは、コノハズクの「仏法僧」（ブッポウソウ）も有名です。仏はおしゃかさま、法は教え、僧はお坊さんのことですね。（はじめ別の鳥の鳴き声だと勘違いされ、別の鳥がブッポウソウと名付けられました。）

メジロは「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」と、江戸時代多かつた名前にあてはめられました。

「特許許可局」というのは早口言葉の一部分のようですが、実はホトトギスのさえずりを表したききなしです。もつとも、ホトトギスはほかにも多くのききなしがあって、一般的なのは「てっぺんかけたか」（山の頂上を走ったか？）ですが、お酒の大好きなお父さんには「一杯つけたか」（お酒のおかんができたか？）と聞こえたそうです。また、お寺の小僧さんには「ぞうきんかけたか」と聞こえたのだそうです。

こうしてみると、ききなしには、さえずりを聞く人が何を考えているのか、ということが関係していることがわかりますね。音読サイン→

できばえは？



① 何の話ですか？

② ききなしとは何ですか？

③ 全部で何種の鳥が出てきますか？

④ ウグイスのさえずりを漢字で書くと？

⑤ コノハズクの鳴き声をカタカナで書きましょう。

⑥ メジロのさえずりをカタカナで書きましょう。

⑦ なぜ小僧さんにはぞうきんかけたかときこえるのか考えて書きましょう。

⑧ ききなしについてどうまとめてあるかを抜き出しましょう。

⑨ あつてている文に○をつけましょう。

（ ）ブッポウソウはブッポウソウと鳴かない。

（ ）メジロのききなしは平成の時代に行われた。（ ）冷酒をのむことをおかん、という。

（ ）ききなしには聞く人が何を考えているのか、ということがけつこう関係している。

⑩ 上の文の感想を四行にまとめましょう。